



青山眼鏡株式会社
bui 事業課
〒103-0023
東京都中央区日本橋本町1-9-4
Daiwa 日本橋本町ビル 3F
TEL 03-3231-8131
FAX 03-3231-8132

2015 No.5
名古屋 編集

プロの目線から

今月の「プロの目線から」は名古屋・大須のサザンインフィニティ様よりご紹介頂きました。

自動車会社テストドライバー

加藤 純也

私の場合、仕事に没頭するうちに知らず知らず眼を酷使していたんですね。

勤務しているのはMという自動車会社です。最初は車両の実用性をテストドライバーの仕事でした。運転中はサングラスを掛けていてもいいん

ですが、ナビゲーションの評価を任せられるようになるとカラーレンズではどうも具合が悪い。2本のメガネを掛け替えるのは煩わしく、事務所に帰ると今度はパソコンに向かってレポートを作らなければならぬ。3時間もやっていると目の奥に



サザンインフィニティ店内にて
加藤 純也さん

鈍痛がしてくる。仕事の疲れイコール目の疲れ、という状態だったのです。

メガネとの付き合いは中学生の頃からです。最初は抵抗がありました。社会人になっていろいろなメガネを掛けられるようになった。1年に1本ときました。1年に1本というペースで新調していましたが、購入する店はその時々によって違いました。何軒かの店を見て、気に入ったメガネに出会うとそこで買っていたのです。目の疲れを自覚するようになって、そんな衝動買いのようなメガネ選びでは駄目だと思えてきました。私の目の状態をちゃんと見てくれる人が必要だと気づいたんです。会社の先輩に相談したところ、大須にあるサザンインフィニティというメガネ屋に行ってみよう、と言われました。そこなら私にピッタリのメガネをきつと見つけてく

れるから。

そこまで言われて行かない手はないな、私は決心して休日に大須に出掛けました。そこで店長の横井さんに出会ったんです。今から8年前、私が36歳の時です。

まず驚いたのが検眼の時にいろいろな質問をされたこと。仕事の内容やパソコンをどれだけ使うかはもちろん、照明の状態やドライブ環境、趣味とに目を合わせる状況のすべてを知らないとメガネは作れないと言われました。それまで検眼というのは機械が測定するものだとばかり思っていた私には、新鮮な体験でした。同時にいろいろな使用状況を聞き出すということ、メガネを何本も持ちなさいということかな？と心配にもなりませんでした。でも横井さんが選んでくれたテストレンズを掛けて店内のパソコンを見ると、何かスッキリとして目に優しい感じがしました。このレンズならパソコン作業だけじゃなく運転も楽になりますよ。1日を通した眼の疲



サザンインフィニティ店長と奥様と…

れも軽くなるはずですよ」横井さんのその言葉がストンと胸に落ちたのは、その見え方の明らかな違いのせいだったのです。それがビュイレンズとの出会いでした。使ってみると目の疲れが少しずつ治まっていきました。見え方がクリアで長時間の作業が楽になり、ナビゲーションから運転、パソコン作業とメガネを掛け替えないですみます。中でも夜のドライブの快適さにはビックリしました。変な言い方ですが、透明なサングラスを掛けて走っているような感覚です。職業柄運転時には

いろいろなものを注視します。信号、対向車、歩行者、ナビゲーションと眼を走らせているとただでさえ疲れやすいのに、夜の街乗りは人工の光が目に飛び込んできます。何とかならないかとずっと思っていたのが、ビュイレンズのおかげで解決したのでした。秘密は特殊なコーティングでした。レンズ一面に八チの巣のように六角形が見える。これがバリアーのような役割を果たすのです。眩しさは防いでくれるが、見え方は変わらない。むしろ邪魔な光を抑えてくれるので、



青山 b.u.i 新聞

青山眼鏡株式会社
bui 事業課
〒103-0023
東京都中央区日本橋本町1-9-4
Daiwa 日本橋本町ビル 3F
TEL 03-3231-8131
FAX 03-3231-8132

2015 No.5

名古屋 編集

鮮明に見える。メガニツク好きの私には、ビュイは精緻な構造を持った見るための道具に思えませんでした。

趣味のスキーでもその効果を実感しました。曇天の時など雪面のコブがよく見えなかったのが、見えるようになったのです。正確に言えばよく見えないまま滑っていたことにやっと気付けた、と言いますか……。

横井さんに出会って、ビュイレンズをすすめてくれて、メガネに対する考え方が変わりました。よく見えるという感動が『もっとメガネを楽しもう』という欲を生んだとでも言いますか。サザンインフィニティさんには「J.F.Rey」や「影郎」といった個性的なデザインのパレームが置いてあり、店に行く度あれこれ相談しながら掛けるうちにメガネが3本に増えていました(！) レンズは

すべてビュイですが、フレームのタイプはそれぞれでTPOに合わせて掛け替えています。横井さんが常々言っている「メガネは見るものであると同時に見せるものだよ」という言葉に妙に納得している今の私です。

もちろん自分だけ楽しんでるわけではないですよ。妻もメガネを掛けていますから、私と同じ体験をさせてあげようとしてサザンさんに連れて行きました。横井さんに検眼してもらい、ビュイレンズに替えたところ、長年悩まされていた偏頭痛から解放されました。今では一緒に店に行き、次のメガネはアレがいい、コレにしようかと盛り上がっています。

私も四十四歳になり、確実に老眼が近づいています。横井さんはそんな私に初めての遠近両用メガネを作ってやるよ、と手ぐすね引いて待っている

るようです。まあそうならたコソクと言わなければなりません。この8年間そうだったように私の眼のことを一番知って

いる横井さんに任せておけば、最適なメガネが出来るはずだからです。夕暮れの街中をドライブしている時、ビュイレンズ越しの景色が雨上がり

の朝のようにキレイに見えて、心の中で口笛を吹いてしまうことがあります。日常の中の小さな奇跡の瞬間なのかもしれません。人生の出会いというのも、おそらくはそういうものなのでしょう。



3X3=∞(サザンインフィニティ)
名古屋市中区大須 3-14-43 第2アメ横ビル1F
TEL : 052-252-5281
<http://home.att.ne.jp/red/3X3infinity/>

お店紹介

今回よりBUI公式フェイスブックと連動しまして、BUIをお取り扱いいただいているお店を紹介していきます。

第一弾のお店紹介は、岐阜駅そばのbuiパートナーショップ。「メガネの岩田」さんです。「色々な方に喜ばれてます。これからbuiを地域の方々に紹介してゆきます。と、嬉しいコメント頂きました。そんなお店の方々にbuiは支えられてます。



メガネの岩田
岐阜県岐阜市日ノ出町1-16
(岐阜中日ビル南)
TEL : 058-265-5446
<http://www.iwatatokeiho.co.jp/index.html>

イベント報告

先日7月2・3日に三重県名張市名張商工会議所までの駅アスピアにて宝石・時計・メガネ田村様の催事におきましてビュイの無料体験会を実施いたしました。当日は、たくさんのお客様にビュイを体感して頂きました。



取材を終えて

由緒あるお寺の境内から吐き出されて来るワンパンマン、少女革命ウテナ、聖闘士星矢……大須の夏の風物詩『世界コスプレサミット』の光景です。扮しているのは世界中から集まったアニメオタク約千人。彼らは大須観音から商店街の中をパレードし、一番切り切った人がその年のチャンピオンになるのです。世界中に発信されるこのイベントの写真や動画の中で、もっとも素晴らしいのはスタート地点の大須観音境内の集合写真でしょう。お寺とコスプレってアリエナイ組合わせじゃないの!?…と思うと同時に大須だから許されるんだと妙に納得してしまう。アーキーなパーパーが満ち溢れる街、それが大須なのです。次はどんな出会いが待っているでしょう? To Bui Contined.